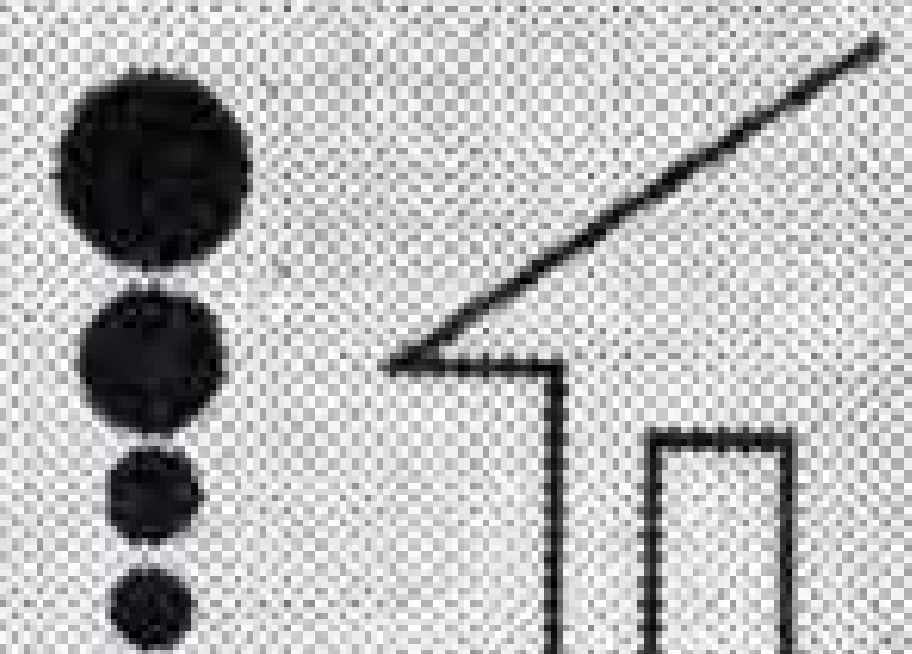


市政モニター提言



成人式の運営は青少年の

自主性にまかせたら

「成人の日」が近づくと晴着のことで親も子も頭を痛めるようです。式へは洋服で出席しても、あとで豪華な着物を着るのがならわしになつていふように思われます。

この際、形式的な式は廃止して、もつと有意義なものにする必要があるのではないかと思います。

たとえば、運動競技会、芸能大会、写真撮影会など青年の自主性にまかせた式にしたらどうでしょうか。青年が自主的に計画をたて、進んで式に参加するようにするのが真の「成人式」にふさわしいと思うのです。ぜひ検討をしていただきたいと思います。

なお、よその市で「希望の森」などの名称で記念植樹を行なつていふところもあるようです。成人記念に植樹を行ない将来の語りぐさにするのの一策だと思いますが、いかがでしょうか……。

(安部井正義)

用水路をきれいにし

潤いのある行政を

さいきん川の汚れが目につきます。身近な例ですが、今泉地区のせぎわく水門から新橋の富士見橋までの、用水路の土砂をしゆんせつしていただきたいと思っています。

さいわい、この用水路には工場汚水はあまり排出されていないようです。せつかくの用水路をきれいにし、市民に潤いをもたせるようにするのが行政の役目だと思います。川添いには市道があるので機械力もフルに使うことができ、経費も少く、短期間でできると思います。

(鈴木道雄)

富士インター入口の

あき地の利用を



東名富士インターチェンジ出入口の空地はどのように利用されるでしょうか。以前からどのように利用されるか期待していたのですが、相変わらず草が繁つており、見苦しく、もつたいたいと思います。

そこで一つの提案ですが、大月線沿いの半分くらいを緑地にし、残りを駐車場にしたらいかがでしょうか。高速道路を出て一息する場所として、また、高速道路に入る前の休憩地として利用したらと思います。

富士市の玄関口であるインターチェンジに緑のある小公園をつくり、東名を利用する人の憩いの場にしていただきたいとつねづね考えています。

(和田旭代)

国勢調査結果 ②

女子労働力がふえる

富士市の労働人口は、第2次産業を主体とする経営規模の拡大によつて急激にふえています。

昭和40年の国勢調査のときは15歳以上人口116,009人のうち、就業者は75,359人で64.9%でした。ところが、昭和45年には132,637人のうち、就業者89,390人で67.3%に増加しています。

また、産業の発展にともない労働力が不足し、女子の就業者がふえています。40年の国調と比較すると25,224人が45年には31,074人と23.2%も増加しています。

昭和45年の総人口180,639人に対する労働力人口の割合は50%をしめています。

